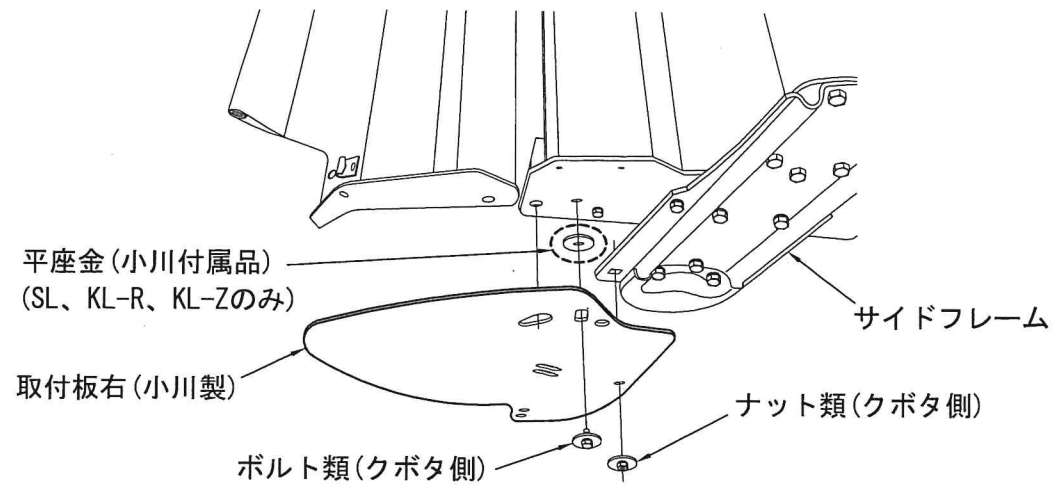
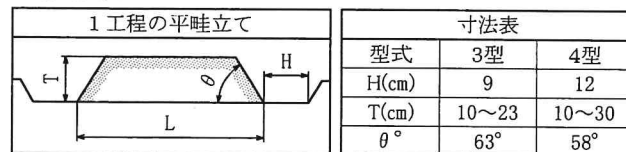


RL/RM用ロータリサイドフレーム側（右側）への取付板装着要領

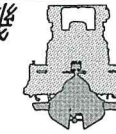
※平座金（小川付属品）は右側のみ使用します。



■ 溝断面図



□お願い ・ご注文いただく際には本機形式、及びロータリ型式もあわせて明示ください。
 ・取扱説明書は仕様改良のため、予告なく変更することがあります。その為製品と説明書の内容及び説明図が一致しない場合がありますがあらかじめご了承ください。

うね盛板3型
SL-370 (470)

適応機種

トラクタ型式 ロータリ型式（サイドドライブ）

■NGL	RL8G・RL9G
■GL+1	RL180G・RL190G・RL200G
■KL	RL18K・RL19K・RL20K
■NKL	RL8K・RL9K
■GKL	RL185K・RL195K・RL205K
■KL50	RL1850K・RL1950K
■KL-R	RL180R・RL190R・RL200R
■SL	RL18S・RL19S・RL20S

ご使用まえに必ずお読みください

安全にお使いいただくために
必ずお守りください

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容を示す。

- 作業機を装着するときは下記事項を必ず守ってください。
- ◇トラクタを平たんで広い場所に置く。
- ◇エンジンを止め駐車ブレーキを掛ける。
- ◇装着する位置で落下調整レバーを「停止」の方向にしっかりと回し、油圧ロックをする。
- 装着後は下記事項に注意してください。
- ◇作業機の調節などを行う場合は、必ずトラクタのエンジンを停止してから行ってください。
- ◇作業機を着脱するときは落下による怪我をしないよう作業機から手を放さないでください。
- ◇作業機の取り付けは、後2輪ホルダの右側（サイドフレーム側）です。左側への取り付けは出来ません。（後2輪は取り外してください）

重要 注意事項を守らないと、機械の損傷や故障の可能性がある内容を示す。

- 耕うん作業を行うとき下記事項を必ず守ってください。
- ◇土質の硬い圃場や未耕地では、作業機をロータリの耕うん幅より外側に取り付けて作業をしないでください。
- ◇トラクタのオート切換スイッチ（MA仕様）を「切」にして作業をしてください。
- その他の注意事項
- ◇取り付けた部品やボルト類は確実に締め付け固定してください。ロータリや作業機等の破損や怪我につながります。
- ◇取り外した部品やボルト類は大切に保管下さい。
- ◇装着または注意等に関する事項は、ロータリに備え付けてあります取扱説明書も合わせて必ずお読みください。

■用途

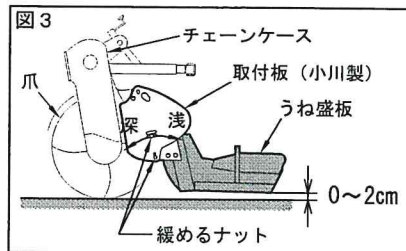
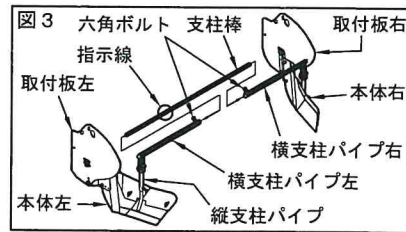
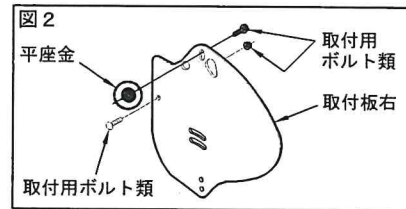
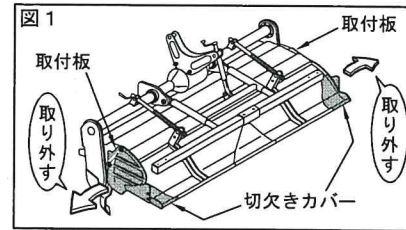
低平うね作り（播種機・施肥機併用）

■特徴

- ①あぜ際からロータリ耕うんと同時に畦作りが出来るので便利です。
- ②ロータリの後2輪が同時に使用できるので、うねの高さや耕深調節が簡単に出来大変便利です。
- ③播種機・施肥機を併用し麦の播種などに使用すると、一工程で一環作業が出来るので便利です。

■装着要領

- ①フラップカバーを取り外します。
- ②ロータリリヤカバー両隅のサイド切欠きカバーを取り外します。（図1参照）
- ③ロータリ側面に装着の左右の取付板を取り外します。この時に取り外した時のボルト類は装着要領④で使用します。（図1参照）
- ④うね盛板に付属の取付板を③で取り外した所に、左右それぞれに取り付けてください。詳しい取り付けは3ページをご参照ください。
RL-Sロータリ（SLトラクタ装着）への場合、右側の取付板装着時には図2の様に取付板の内側に付属の平座金（部品図部番22）を入れ六角ボルトで固定してください。
- ⑤④の側板にうね盛板本体を左右それぞれに取り付けます。このときロータリリヤカバーがうね盛板本体に干渉しないことを確認してください。
- ⑥縦・横支柱パイプを左右それぞれに取り付け、左右の横支柱パイプに支柱棒を左右均等になるよう（指示線を目安に）差し込み、六角ボルトにて確実に締め付け固定してください。（図3参照）



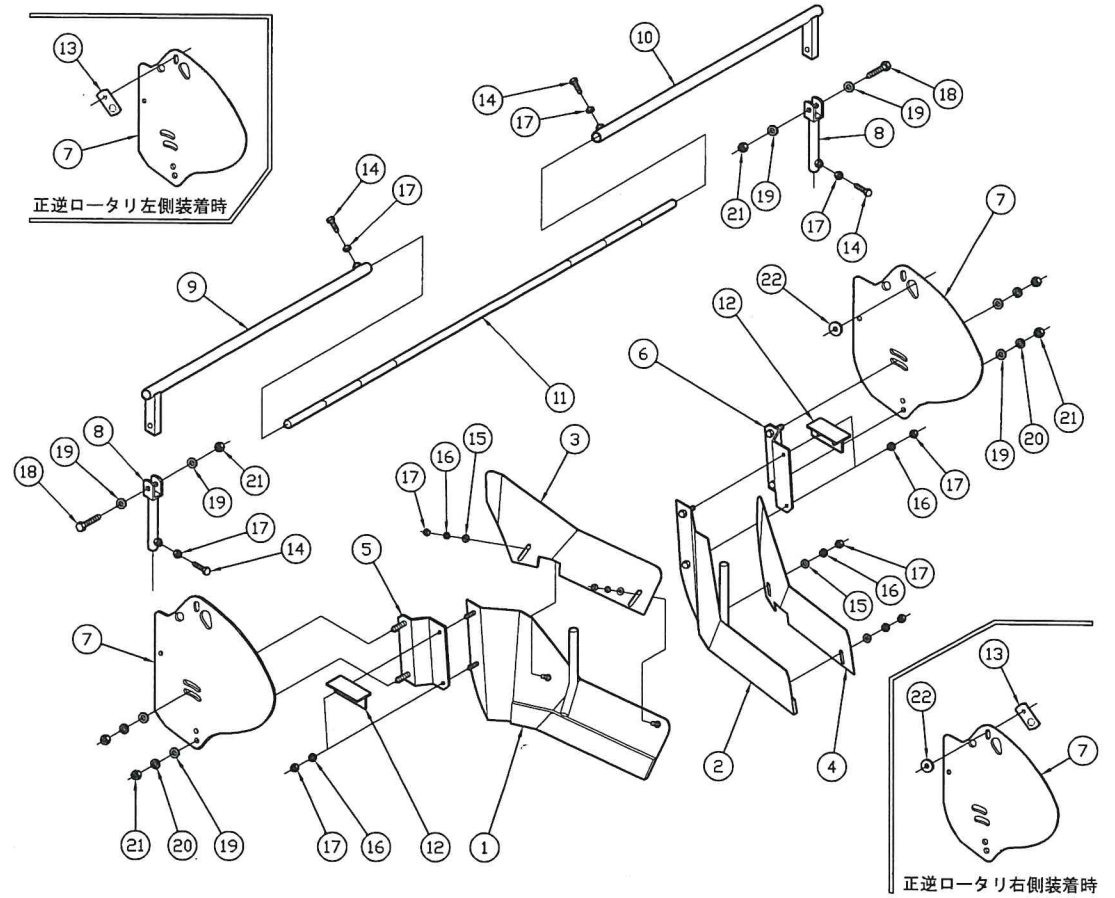
■調整要領

- ①標準的な作業姿勢は、うね盛板の底面がロータリの耕深と同位置、又は多少上を進行するように調整してください。（図3参照）
- ②耕深の調整は、連結板を取り付けている取付板側のナットを緩め、深くする場合は本体を前傾に、浅くする場合は後傾になるにします。調整後はナットを確実に締め付け固定してください。（図3参照）

■適用作物と併用作業機

- ①水田に於ける転作・野菜作には、うね立て栽培が是非必要です。その場合うね盛板によるうね立て法は大変有効で、更に併用作業機との組み合わせにより著しく効果を高めることが出来ます。
 - 1) 一般野菜類 うね盛板 ⇒ うね立て
 - 2) 大豆・麦類 うね盛板+施肥播種機 ⇒ うね立て同時施肥播種

■部品図



■部品表

部番	部品名称	コードNo.		数量	部番	部品名称	コードNo.		数量
		ウネモリバン3ガタ	ウネモリバン4ガタ				ウネモリバン3ガタ	ウネモリバン4ガタ	
1	ホントイヒダリ			1	12	Tジカナグ	97702-12660	97702-12660	2
2	ホントイミギ			1	13	ヒンジピンヌケドメプレート	97702-13650	97702-13650	2
3	ホジョハネヒダリホントイ			1	14	ボルト M10×1.5×30	01050-51030	01050-51030	4
4	ホジョハネミギホントイ			1	15	ヒラザガネ M10	04013-50100	04013-50100	4
5	レンケツイタ（7）ヒダリ			1	16	パネザガネ M10	04512-50100	04512-50100	8
6	レンケツイタ（7）ミギ			1	17	ナット M10	02014-50100	02014-50100	12
7	トリツケイタアッシ（SL）	98301-87760	98301-87760	1	18	ボルト M12×1.75×45	01053-51245	01053-51245	2
8	タテシチュウパイプ	97702-13610	97702-13610	2	19	ヒラザガネ M12	04013-50120	04013-50120	8
9	ヨコシチュウパイプヒダリ(700)	97702-13620	97702-13620	1	20	パネザガネ M12	04512-50120	04512-50120	4
10	ヨコシチュウパイプミギ(700)	97702-13630	97702-13630	1	21	ナット M12×1.75	02174-50120	02174-50120	6
11	シチュウボウ(950)	97702-11120	97702-11120	1	22	ヒラザガネ	97702-13660	97702-13660	1